

科目名 (科目番号)	総合実習 (時間割参照)	教員名	野田智子 吉田和美 他看護学科教員	学科等	看護	必修	履修年次	4
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	3
				授業形態	実験・実習	オフィスアワー	別途提示します	
授業概要	総合実習は、専門科目の「看護の統合と発展」に位置づけられている科目である。また、看護基礎教育の最終段階として、既習の知識・技術・態度を統合し、看護の目的に合った対象の状態や状況に応じた判断、優先順位を考慮し、対人関係を築きながら看護チームの一員として「継続看護」「看護管理」についての自覚と責任を養うために学習を進める。							
目的・目標	既習の知識・技術・態度を統合し、多職種との協働・連携の中で看護チームの一員として看護を継続的に実践できる能力を養う。また、実習を通し看護管理のありかたを学ぶ。							
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。							
授業計画	授業項目			到達目標・学習内容				
	到達目標 1) 複数の患者を受け持ち、優先順位を考えた看護援助を実施できる。 2) 看護チームの一員としての役割と責任を自覚して行動できる。 3) 実際の看護活動を通して看護管理について理解できる。 4) 看護実践における多職種との協働・連携の実際について理解できる。 5) 実習での体験を通して自己の看護観を深めることができる。 6) 自己研鑽力を高めることができる。 実習内容 1) 複数の患者を受け持ち、優先順位を考えた看護援助を実施する。 2) 看護チームの一員としての役割と責任を自覚して行動する。 3) 実際の看護活動を通して看護管理について理解する。 4) 看護実践における多職種との協働・連携の実際について理解できる。 5) 実習での体験を通して自己の看護観を深めることができる。 * 詳細は実習要項 「総合実習」を参照のこと。							
成績評価の方法・基準	総合実習要項の実習評価表に基づき評価する。							
教科書	オリエンテーション時に提示							
参考図書	オリエンテーション時に提示							
教員からのメッセージ	総合実習は領域実習の最終段階に位置づけられ、いわば臨地実習の「総まとめ」として、また看護のアイデンティティを確かなものにする重要な実習です。集大成となるよう意欲的に、主体的に取り組みましょう。病院で勤務した看護師がこの授業を担当します。オンライン授業に変更の場合は変更内容を提示します。							